



ぞら てき くれ き
空から敵が呉にやって来たのです。

ばく はつ おと くら よ ぞら ひる あか
爆発する音とともに、暗い夜空が、昼より明るくなりました。

てき ひ こう き お しょうめい だん へい き
それは、敵の飛行機が落とした照明弾という兵器でした。

くれ そら ぜん たい ねら て
呉の空全体が、狙いをつけるために照らされました。



つぎ しゅん かん
次の瞬間。

はい ご む すう じゅうだん と き
背後からいっせいに、無数の銃弾が飛んで来ました。

じゅうだん なん ど
ズバババババ!! と、銃弾は何度もうなり、はじけました。



——死んだ。

りゅういちさんはおもいました。

まっかち血が、たくさん飛び散りました。